

# 七小校長室便り

開校51年目 国立市立国立第七小学校

校長室便りNo.10 令和6年(2024年)3月8日

## 弥生3月を迎えて

日本には、1月から12月の月の呼び方を、旧暦で呼ばれていた月の名前で呼ぶことがあります。この3月は、「弥生(やよい)」です。弥生の漢字の「弥(いや)」は、ますます・いよいよという意味があります。そして、「生(おい)」には、草木が芽吹くことを意味する漢字が使われています。



寒さが厳しい冬を超えて、温かな春風にたくさんの花や草や木が一斉に芽吹き、成長する月ということで、「木草(きくさ)弥(いや)生(お)ひ茂る月」という言葉が詰まり、「いやおひ」が「弥生(やよい)」と呼ばれるようになったと言われています。

春という季節は、眠りから目が覚めるように、様々な動植物が活動的になります。生き生きとした季節ともいえるところです。しかし、単に暖かくなったからというわけではなく、一年の四季折々の中での出来事が、様々に影響を与え、動植物を生長させ、そして、最後に冬の寒さを耐え忍んだ後に、鮮やかな生き生きとした生の芽吹きの姿にさせていくように感じられます。

学校現場の一年も、同じようなところがあり、そして、人の一生も同じようなところがあります。多くの経験や体験を経て、一つ一つ自分自身の壁を破り、ハードルを越えながら、成長をしていく。そして、その壁が大きければ大きいほど、また、ハードルが高ければ高いほど、越えていくことができたときの成長の度合いは、まさに桜の花が満開になるような鮮やかで生き生きとした姿になると思います。



この弥生3月の本校の児童は、この一年間の学びを経て、一人一人が成長し、次へのステップに踏み出そうとする姿があります。誰一人として成長していない子供はいません。また、教員という仕事の醍醐味の1つには、その子供の成長を見ることにあります。

もちろん、個人差はありますが、ご家庭でも、この一年のお子さんの成長を、ポジティブに見ていただいて、お子さんと共に喜び合っただけでしたら、有難いところです。国立第七小学校は、来年度も、一人一人に寄り添うとともに、今日の前にいる子供を大切にしながら、「やさしく」の取組を更に進めてまいります。どうぞ、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

## 来年度の取組について その2

前回の校長室便りに、「教育目標における重点」、「土曜授業日の削減」、「自動音声応答機能による電話対応」の3点をお知らせしました。

その中で、**自動音声応答機能による電話対応を実施する月**について、前回の校長室便りには、4月と明記いたしましたが、学校の現状や保護者の皆様とのやり取りの状況等から、**5月実施とすること**といたしました。詳細については、昨日お知らせしておりますので、ご確認ください。

改めて、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

ここからは、「来年度の取組について その2」として、お知らせいたします。

### ○ コミュニティ・スクールの令和7年度実施に向けて

市内の実施校として、来年度の令和6年度は、国立市内小学校から国立第四小学校、中学校から国立第三中学校が実施することになりました。本校においても、コミュニティ・スクールに必要な学校運営協議会の設置や地域学校協働活動推進員の設定などの条件を整えてきているところですが、**令和7年度から実施したい**と考えています。来年度に教育委員会と確認を行ってまいりますので、ご承知おきください。

### ○ PTAと連動した体制づくりについて

今年度もPTAと連動した教育活動について、いよいよ最後の月となりました。現在、PTAでは、来年度の総会に向けた体制や資料づくり等に取り組んでおられます。その中で、学校としてお願いをさせていただいた、**副校長をPTA副会長として参加させていただくこと**により、PTAとのより緊密な連携ができるような体制となることを進めています。

これまでも、学校の教育活動と効果的で実の伴った合理的なPTA活動となるように連携を高め

てきているところではありますが、前述したコミュニティ・スクールに向けた体制の整備のためにも、実現をお願いしているところです。

保護者並びに地域の皆様にもご理解いただけますようお願いいたします。

## ○ 見守り会の10周年に伴って

これまで、本校の児童の安全な登校時の見守りや児童が安心できる声掛けや挨拶の励行など、本校の児童の安全と安心を図ってきていただきました「七小見守り会」が、今年、10周年となります。コロナ禍の中でも、懸命に、また、子供たちとのかかわりや交流を喜んでいただきながら、この10年間に渡り、本校の児童を守ってくださいました。厚く御礼を申し上げます。

ありがとうございました。

コロナ禍で実施できずにいた、**見守り会と本校児童との関わりや懇談の場についても、来年度から、順次再開**してまいりたいと思います。

また、この3月4日（月）には、来年度からの取組に先立ち、全校朝会にて見守り会と子供たちの交流の場を設け、6年生の全校児童代表の子供たちからお礼の言葉をお伝えしました。また、その後には本校の教職員の代表との懇談を行い、来年度に向けて話し合いを再開いたしました。

また、3月22日（金）に卒業式の予行を行う際には、見守り会の方に来ていただき、卒業式の様子を見ていただく機会を設定いたします。卒業式当日は、参加人数や体育館の準備の関係上、当日にお越しいただくのが難しいところですので、ご理解をいただけますようお願いいたします。

以上のように、本校と七小見守り会の絆をさらに強く結び、この10周年をお祝いしながら、更なる連携と七小見守り会の歴史を共々に綴ってまいります。

## ○ 令和5年度の離任式の実施に伴って

令和5年度の離任式については、令和6年3月21日（木）に実施と学校だよりでお知らせしているところですが、この離任式は、異動や退職等をされる教員のみとなります。

会計年度任用の方々については、離任式を実施する段階では、お知らせができない方もおり、また、新年度の離任式への出席が難しい方も多い状況があつて、**来年度には、離任式を実施せず、お昼の放送などに来ていただいて、お話をさせていただく**ような対応をしてみたいと思います。子供たちや保護者の皆様には、申し訳ありませんが、ご理解の程、よろしく願いいたします。

### 【校長のつぶやき】

2月の中旬ごろ、学校を2週間程度、お休みしておりました。ご存じの方もおられると思いますが、義理母の葬儀等の対応をしておりました。そのため、学校を不在にしておりました。また、先日の3月2日には、突然ではありましたが、田舎に住んでいた実父も逝去し、家族と親戚、友人の方々により葬儀を行いました。

今年度は、これまで個人的にお世話になった方や教育活動でご支援をいただいた地域の方など、訃報に接する機会が多くあり、今改めて、感じていることがあります。

それは、やはり「人と人との縁の大切さ」です。

私は、教員として、これまで6校の学校に勤めました。それぞれの学校においては、担任の教諭として、主幹教諭として、副校長として、そして、今の立場の校長として、それぞれの立場で多くの皆さんと子供たちのために、学校のために関わり、より良い関係を築いてきた思いがあります。

また、教員として働く傍らで、合唱のアマチュア指導者として、多くの子供たちや学生の皆さんと合唱活動も行ってきました。どれも、真剣に全力で取り組んできたことは、誰にも恥じるところはないと思っています。

しかし、今回の様々な機会では、人生の最終章において、自分のこれまでの取組や活動が、どれだけの多くの縁の下に支えられていたのか、どれだけ多くの方々と出会ってきたのかが分かるのだということ改めて実感したのです。人は、一人では、なかなか大きなことを進めたり、成功させたりすることは難しいところです。しかし、多くの方々の力を借りたり、結集したりすれば、思いもよらないことも実現できるし、充実の人生を送ることができる。

一人の人として、どこまでも「縁」を大切にし、多くの皆さんと楽しくも、頑張りどころのある活動を見いだしていくことを通して、自身の歴史という自分史を綴っていきたい。そして、人生の最終章の時を迎えられるように、更に努めようと決心をしてきました。

この場をお借りして、「縁」ある全ての方々へお礼を伝えます。

「ありがとうございました！

これからも、頑張ります！！」